

# 詳細ビジョンの視点と方針

福生市地域新エネルギー詳細ビジョン (2006年2月)

地球温暖化防止

エネルギーの確保

地域活性化

上の3つの課題を克服するためには、CO<sub>2</sub>排出を削減しつつ、技術やシステムの導入、新規事業の育成を通じて経済の好循環を築いていく必要があります。そのために本ビジョンは以下のような視点で検討を進めました。

## 福生市新エネルギー詳細ビジョンの視点

着実な省エネルギーの推進  
新エネルギー導入とエネルギーのベストミックスの追求  
分散化によるエネルギー供給の効率化と安定化  
地域の新規産業・雇用の創出

本ビジョンは市民一人ひとり、事業者、行政が目標に向かって着実にCO<sub>2</sub>の削減を進めていくための計画です。

市民・事業者・行政の協働  
エネルギー関連事業の構築  
国・都・周辺自治体との連携

2003  
(基準年)

## 福生市の特性

大きな事業所がなく、住宅地が広がるベッドタウン  
団地・市街地など住宅がまとまって存在  
家庭からのCO<sub>2</sub>排出が大きな比率  
乗用車の排出量も大きい  
太陽光以外有望な再生可能エネルギーがない

## 世界最高水準のCO<sub>2</sub>削減目標値

現行排出量を基準に  
2010年にマイナス10%  
2020年にマイナス25%  
2030年にマイナス50%

世界にはさらに高い目標を掲げる国や都市もありますが、それらと比べても遜色のない高い水準の長期目標です。しかし、この目標を達成するためには、今後多くの対策に、市民一丸となって取り組む必要があります。

— 50% 2030

— 25% 2020

CO<sub>2</sub>削減目標

市民がエネルギー政策に参加するまち  
太陽エネルギーが普及しているまち  
エネルギー効率の良いまち  
エネルギーを自ら手がけ自給するまち  
快適に暮らせる災害に強いまち

## エネルギー消費を減らそう

エネルギーの節約は効率の良い機器や建築で、確実に実行できます。

### 省エネルギー

高効率な家電や熱機器への買い換え  
省エネ型住宅への建て替え・リフォーム  
節電や節水  
事業所や工場での省エネ推進  
など

## エネルギーをムダなく使おう

コジェネレーションシステムは発電時の廃熱も有効利用してムダをなくすものです。  
地域に小規模な発電所があれば、廃熱をお湯や冷暖房用に使うことができエネルギーの節約になります。

### エネルギーの効率的利用

コジェネレーションシステム導入  
分散型発電・地域冷暖房システムの導入  
ハイブリッド自動車などへの買い換え  
など

### 再生可能エネルギー

太陽光発電導入  
太陽熱利用システム導入  
ペレットストーブの導入  
など

## 目標達成のための方針

### クリーンなエネルギー

天然ガスのいっそうの普及  
グリーン電力の導入

### CO<sub>2</sub>排出ゼロのエネルギーを使おう

太陽光発電などは繰り返し使え、CO<sub>2</sub>を排出しないエネルギーです。

### CO<sub>2</sub>排出の少ないエネルギーを使おう

天然ガスは石油や石炭に比べ、CO<sub>2</sub>の排出が少ないエネルギーです。  
これからは風力発電やバイオマス発電など再生可能エネルギーで発電された電力も買うことができるようになって期待されます。